

News Release

2009 年 6 月 17 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

『電池でつながる関西・東海 ～関西電池産業の特徴と 発展へのヒント～』を発行

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下、「DBJ」という）は、このたび「電池でつながる関西・東海 ～関西電池産業の特徴と発展へのヒント～」と題した調査レポートを作成いたしました。

世界の蓄電池及び太陽電池市場は、電気自動車や自然エネルギー分野での需要拡大を背景に、急成長が続く見込みです。国内においても、近時政府が打ち出した普及支援策の後押しなどを受け、市場拡大への期待が高まっています。

当レポートでは、関西において集積が進む、リチウムイオン電池や太陽電池産業について、その集積状況を調査し、異業種の連携や参入が進んでいるなどの特徴を指摘しました。また、集積する電池産業を、地域の確立した産業として持続的に発展させるべく、電池を活かした新しい社会システムづくりについて考察し、提案をまとめています。

資料をご希望の方は、同ウェブサイト「地域・海外レポート（関西）」に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域のお役に立てる情報発信を積極的に行って参ります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455